国語科教育特論

科目ナンバリング　ESS-401
選択　　2単位

坂本　喜代子

1. 授業の概要（ねらい）

本授業は、言葉による見方・考え方を働かせ、国語に関する資質・能力を高め、小学校の教員としての実践力を身に付けることを目指している。そのため、体験とリフレクションを繰り返し、国語科教育の要点を実感できるようにする。体験とは国語科の授業記録を再現し演じてみることやゲストティーチャーのワークショップを受けることである。リフレクションとは、体験から得られた気づきを言語化することである。体験活動を通して、国語科の内容である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」を関連づけ、即戦力の育成を図る。

2. 授業の到達目標

・国語科教育における見方・考え方、資質・能力について基本的事項を修得する。
・体験とリフレクションを通して、国語科教育の要点を理解し実践力を身に付けることができる。

3. 成績評価の方法および基準

・平常点90%、学習内で行う学習活動への参加、指定課題の提出、ポートフォリオの作成など。本授業は全回出席することが基本である。

4. 教科書・参考文献

教科書
藤森裕治　学力観を問い直す国語科の資質・能力と見方・考え方　明治図書
渡辺貴裕　小学校の模擬授業とリフレクションで学ぶ授業づくりの考え方　くろしお出版

5. 準備学修の内容

・教材を読み、教材分析をまとめておく。（予習）
・リフレクションでの気づきまとめ、ポートフォリオに整理する。（復習）

6. その他履修上の注意事項

・主体的に参加し、提出物の締切は厳守すること。

7. 授業内容

【第1回】　国語科における資質・能力とは何かについて学ぶ
【第2回】　国語科における「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」とは何かについ学ぶ
【第3回】　国語学力を育てるために必要な要素とは何かについて学ぶ
【第4回】　言葉による見方・考え方とは何かについて学ぶ
【第5回】　リフレクションの方法とその意義について学ぶ
【第6回】　リフレクション①低学年「読むこと」の実践から学ぶ
【第7回】　リフレクション②中学年「知識及び技能」の実践から学ぶ
【第8回】　リフレクション③高学年「書くこと」の実践から学ぶ
【第9回】　リフレクション④低学年「言葉遊び」の実践から学ぶ
【第10回】　リフレクション⑤中学年「読むこと」の実践から学ぶ
【第11回】　リフレクション⑥高学年「話すこと・聞くこと」の実践から学ぶ
【第12回】　実践研究①教師の話し言葉：説明・発問・指示
※ゲストティーチャーによるワークショップ
【第13回】　実践研究②教師の表現力：読み聞かせ・音読
※ゲストティーチャーによるワークショップ
【第14回】　国語科における資質・能力を問い直し、再考する
【第15回】　これからの国語科教育に求められることについて学ぶ
※オンライン(LMS)